様様式２(4)

（第３条第１項関係）

木質バイオマスによるＣＯ２排出削減量認証申請書

　　年　　月　　日

鹿児島県知事　　　　　　　　様

申請者　住　　所

企業等名

代表者名

　木質バイオマスによるＣＯ２排出削減量の認証を受けたいので，かごしまＣＯ２吸収量等認証制度実施要綱第３条の規定により下記のとおり申請します。

記

１　木質バイオマスの種類：

２　施設名（所在地）：

３　ボイラー等の種類：

４　木質バイオマスの使用実績：　　　　　　　　　　　　　　ｔ（全乾重量）

５　算定期間：　　　　　年　月　日　～　　　　年　月　日

６　添付資料

（１）木質バイオマスによるＣＯ排出削減量算定に係る計算書（様式２(4)－１）

（２）上記計算書の数値の根拠とした伝票，カタログ等の書面（様式２(4)－２）

（３）施設概要図

（４）使用施設の写真，ボイラー等の写真，木質バイオマス燃料の写真（各１枚）

（５）その他知事が必要と認める書類

７　連絡先

　　　担当者名：

　　　電話番号：

（様式２(4)－１）

木質バイオマスによるＣＯ排出削減量算定に係る計算書

１　排出削減事業者の情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請企業等名 |  | | |
| 木質バイオマスの種類 |  | | |
| 木質バイオマスの製造者名 |  | | |
| 使用施設（所在地） |  | | |
| ボイラー等の種類 |  | | |
| 担当者　職・氏名 |  | | |
| Ｅーmail |  | | |
| 電話番号 |  | FAX番号 |  |

２　算定期間（木質バイオマスの使用期間）

|  |
| --- |
| 自：　　　　　年　　月　　日　　～　　至：　　　　　年　　月　　日 |

３　木質バイオマス燃料の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 数　量 | 備 考 |
| 木質バイオマス燃料の  使用量（納入重量） | ｔ | 使用した木質バイオマスの水分を含む総重量  （小数点以下３位四捨五入，２位止め） |
| 木質バイオマス燃料の  湿量基準含水率 | ％ | バイオマス使用量全体の平均含水率  （小数点以下２位四捨五入，１位止め） |
| 木質バイオマス燃料の  使用実績（全乾重量） | ｔ | 総重量から水分重量を差し引いた，全乾重量  （小数点以下３位四捨五入，２位止め） |
| 木質バイオマスボイ  ラーの効率 | ％ | 使用する木質バイオマスボイラーのエネルギー効率（小数点以下切り捨て，整数止め） |

４　代替された化石燃料の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 旧ボイラーで使用して  いた燃料の種類 |  | 従来使用していたボイラー又は使用していたと想定されるボイラーの化石燃料の種類 |
| 旧ボイラーの効率 | ％ | 従来使用していたボイラー又は使用していたと想定されるボイラーのエネルギー効率  （小数点以下切り捨て，整数止め） |

５　事業実施後の補助燃料等

|  |  |
| --- | --- |
| 化石燃料の種類 |  |
| 化石燃料の消費量(単位：種類毎） |  |
| 購入電力の消費量 | ｋWｈ |

　　※　事業実施後の補助燃料等は，バイオマスボイラーの運転に伴って使用する周辺施設

　　　 及びバックアップボイラー等の稼働時に要する化石燃料及び電力である。

　　　　 消費量は，上記２の算定期間に係るそれぞれの消費量を記載

（様式２(4)－２）

ＣＯ排出削減量算定計算書の根拠とする伝票，カタログ等の書面

　様式２(4)－１の計算書に係る数値の根拠とする書面は，下記を参考に作成するものとする。

（１）　木質バイオマスの使用量

　　　　伝票等の書面で確認された木質バイオマスの使用量（ｔ）

|  |  |
| --- | --- |
| 木質チップ | 仕入れ単位毎に，納品書や計量器等で数量を把握し，書面に整理する。 |
| その他  （製材端材等） | 仕入れ単位毎に，納品書や計量器等で数量を把握し，書面に整理する。  　自社の製材工場の製材端材，かんな屑等で，納品書等がない場合，当該工場の処理数量（製材加工量等）から，通常想定される歩留り等を乗じて算出した結果を書面に整理する。 |

（２）　木質バイオマスの含水率（湿量基準含水率）

|  |  |
| --- | --- |
| 木質チップ | 仕入れ単位毎に，含水率を把握し，書面に整理する。  （測定方法）  ①　「木質チップ含水率の簡易測定マニュアル」に基づく測定  　②　一般に使用されている水分計による測定  　③　公的機関による測定 |
| その他  （製材端材等） | 仕入れ又は自家処理木材毎に，含水率を把握し，書面に整理する。  （測定方法）  ①　一般に使用されている水分計による測定  ②　公的機関による測定  ③　含水率測定値がない場合は，湿量基準含水率５０％を使用する。  　　（乾量基準含水率換算：１００％） |

（３）　木質バイオマスボイラーの効率，旧ボイラーの効率

|  |  |
| --- | --- |
| 木質バイオマスボイラー | 使用している木質バイオマスボイラーの効率が確認できる仕様書等を添付する。 |
| 旧ボイラー | 従来使用していたボイラーの仕様書等を添付する。  　または効率100％を使用する。 |

（４）　事業実施後の補助燃料等のＣＯ排出量

　　　　次の式で算出された数値とする。なお，バックアップ時も適用する。

　　　　（補助燃料の化石燃料消費量×化石燃料の単位発熱量×化石燃料ＣＯ排出係数

　　　　＋事業実施後の電力消費量×電力ＣＯ排出係数）

【上記式で用いる数値等】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助燃料の化石燃料  の消費量 | 燃料の種類 | 化石燃料の種類 |
| 消　費　量 | 伝票等で数量を書面に整理する。 |
| 電力消費量（KWh） | 電力の購入伝票，または，計量器（電力量計等）を用いて測定し，書面に整理する。  　測定ができない場合は，使用設備の仕様に表示された最大消費電力（kW）×期間内の稼働時間（ｈ）から算定し，書面に整理する，または，J-クレジット制度のデフォルト値により算定する。 | |

※　化石燃料及び電力の単位発熱量及びＣＯ排出係数は，算定基準に示された値を使用する。